

【学位論文発表会】

ニワトリの攻撃行動を制御する
ステロイドホルモンおよび関連遺伝子に関する研究

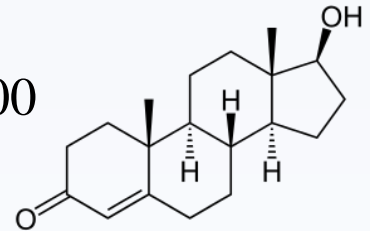
Hormonal and Molecular Study of Chicken Aggressive Behavior

発表者: 閔 智群 (Yan Zhiqun)

日時: 2019年7月25日(木) 14:00-15:00

場所: 生物生産学部C205教室

言語: 日本語 (Presented in Japanese)



地鶏は日本鶏である雄親から肉質の良さと同時に荒い気性を受け継ぎ、攻撃性が高いことが飼養管理上の深刻な問題である。本研究は行動テストにより雄性ホルモン(テストステロン)がニワトリの攻撃行動に及ぼす影響について検証するとともに、マイクロアレイ法による攻撃行動関連遺伝子の選抜を実施した。本研究成果は地鶏飼育者の負担軽減と地鶏の生産性向上に繋がることが期待される。

Japanese brand chicken breeds inherit the aggressiveness from their native breed sires. High level of aggression causes great economic loss to the poultry industries. This study illustrated the relation between testosterone and chicken aggressive behavior by using two behavior tests, and screened aggression-induced genes in chicken hypothalamus.



※連絡先: 河上 眞一(内線3857) skawak@hiroshima-u.ac.jp

※本学位論文発表会は、生物圏科学研究科の共同セミナーになります。